

分	100°C 未滿ノ 潤出容量%	1 以 下
	125°C以上160°C未 滿ノ潤出容量%	5 0 以 上
潤	160°C 以 上ノ 潤出容量%	1 0 以 下
不揮發分(100CCニ付)		0.02g 以 下
酸 價		0.5 以 下
斑 痕 試 験		合 格
白化防止試験		合 格

第四條 試料採取方法及試験方法 [リターダー]ノ試料採取及試験ハ第十六編第十二ラツカーシンナー第五條ニ依ル 但シ斑痕試験ハ約 60°C ニテ行ヒ白化防止試験ハ次條ニ依ルモノトス

第五條 白化防止試験 [ラツカーエナメル]黒第一種(第十六編第六染料ヲ含有セザルモノ)ニ重量ニテ等量ノ[ラツカーシンナー](備考)及0.2倍ノ試料ヲ加ヘ十分ニ混和シ之ヲ溫度 18°C 乃至 25°C 湿度 90% 乃至 95% ノ通風ヲ有セザル室内ニ於テ清淨ナル[ガラス]板(120×165mm)ニ注ギ直ニ[ガラス]板ノ短邊ヲ水平ニシ長邊ヲ水平面ト 60°ノ角度ニ保テテ流展乾燥セシム 同時ニ同様ニ處理シテ得タル見本品ノ皮膜ト比較シ平滑度及光澤劣ラズ縞、斑點、白化等ノ程度大ナラザルモノヲ合格トス

備考 本試験ニ使用スル[ラツカーシンナー]ノ組成ハ次表ニ依ルモノトス

組 成 分	調 合 割 合 (重量比)
醋 酸 エ チ ル	2 0
醋 酸 ブ チ ル	1 0
正ブチルアルコール	5
ベンゼ ー ル	6 5

第十四 ザボンエナメル

第一條 本規格ハ[ザボンエナメル]ニ之ヲ適用ス

第二條 [ザボンエナメル]ハ[ニトロセルローズ]塗料ノ一種ニシテ透明皮膜ヲ形成シ金屬面ノ防錆、著色又ハ[ガラス]面ノ著色ニ使用スルモノニシテ吹付塗、刷毛塗又ハ浸漬塗ニ適スル如ク調製セラレタルモノトス

第三條 [ザボンエナメル]ハ次表ノ規定ニ合格スルコトヲ要ス

不揮發分%	7 - 1 3
作 業 性	作業ニ支障ナキコト
乾 燥 時 間	1時間以内
乾燥皮膜ノ状態	見本品ニ比シ色暗カラズ透明度、平滑度及光澤劣ラズ縞、斑點、白化等ニ於テ其ノ程度大ナラザルコト
屈 曲 試 験	合 格
耐 熱 試 験	合 格
不 粘 著 試 験	合 格
酸 性 度 試 験	合 格

備考 酸性度試験ハ其ノ必要ヲ認メザル場合ハ之ヲ省略スルコトヲ得ルモノトス

第五條 試料採取方法及試験方法 [ザボンエナメル]ノ試料採取ハ日本標準規格第449號油ワニス及同試験方法第六條ニ依リ試験ハ第六條乃至第十三條ニ依ルモノトス

第六條 不揮發分 第十六編第一ニトロセルローズ塗料試験方法第三條ニ依ルモノトス

第七條 作 業 性 作業性ノ試験ハ當事者間ニ於テ協定シタル方法ニ依リ吹付塗、刷毛塗又ハ浸漬塗ノ何レカニツキ之ヲ行フモノトス

吹 付 塗 試料ヲ其ノ儘又ハ之ニ[レデューサー](第十六編第十

五)ヲ添加(レヂューサー)ノ添加量ハ試料ニ對シ重量ニテ 0.2 倍乃至 1.0 倍)シ十分ニ攪拌シテ吹付塗裝ヲナスニ適當ナル粘稠度トナシタルモノヲ清淨ナル[ガラス]板(120×165mm)ノ片面ニ吹付塗裝ヲナスニ格段ノ困難ヲ感ズルコトナクシテ平滑ナル皮膜ヲ形成セシメ得ルトキハ作業ニ支障ナキモノトス

刷毛塗 日本標準規格第 449 號油ワニス及同試驗方法第十四條ニ依ルモノトス

浸漬塗 試料ヲ其ノ儘又ハ之ニ [レヂューサー] (第十六編第十五)ヲ添加(レヂューサー)ノ添加量ハ試料ニ對シ重量ニテ 0.2 倍乃至 1.0 倍)シ十分ニ攪拌シテ浸漬塗ヲナスニ適當ナル粘稠度トナシタルモノニ清淨ナル[ガラス]板(80×170mm)ヲ挿入シ徐々ニ垂直ニ引上ゲ垂直ニ靜置シテ乾燥セシムルニ流展性良好ニシテ試料ガ[ガラス]面ニ均等ニ附著スルトキハ作業ニ支障ナキモノトス

第八條 乾燥時間 試料ヲ其ノ儘又ハ之ニ [レヂューサー] (第十六編第十五)ヲ添加(レヂューサー)ノ添加量ハ試料ニ對シ重量ニテ 0.2 倍乃至 1.0 倍)シ十分ニ攪拌シテ吹付塗裝ヲナスニ適當ナル粘稠度トナシタルモノヲ清淨ナル[ガラス]板(120×165mm)上ニ 2 回吹付塗裝ヲナシ直ニ之ヲ換氣孔ヲ有スル恒温恒濕槽(備考)ニ入レ乾燥セシム規格ニ規定セル乾燥時間ノ最長限ヲ經過セル後直ニ拇指ト食指トニテ板ノ中央ヲ挟ミ強ク壓スルモ塗膜ニ指紋ヲ印セズ且急速ニ摩擦スルモ塗膜ニ擦痕ヲ殘サザルトキハ乾燥シタルモノトス

備考 恒温恒濕槽ハ溫度約 20°C 濕度約 75% トス

第九條 乾燥皮膜ノ狀態 試料ヲ第七條ノ方法ニ依リ清淨ナル[ガラス]板ニ塗布シ溫度 15°C 乃至 25°C 濕度 70% 乃至 80% ニシテ通風ナキ室内ニ垂直ニ保チテ乾燥セシム同時ニ同様ニ處理セル見本品ノ皮膜ト色、透明度、平滑度、光澤、縞、白化等ノ程度ヲ比較ス

第十條 屈曲試驗 試料ヲ其ノ儘又ハ之ニ [レヂューサー] (第十六編第十五)ヲ添加(レヂューサー)ノ添加量ハ試料ニ對シ重量ニテ 0.2 倍乃至 1.0 倍)シ十分ニ攪拌シテ吹付塗裝ヲナスニ適當ナル粘稠度トナシタルモノヲ清淨ナル[ブリキ]板(50×150×0.3mm)上ニ約 30 分ヲ隔テ、3 回吹付塗裝ヲナ

シ室温ニテ乾燥後溫度約 70°C ノ恒温器中ニテ 1 時間加熱シ塗膜ノ厚ヲ 0.01mm 乃至 0.03mm ナラシム板ヲ溫度 15°C 乃至 25°C ニ保チタル[デシケーター]ニ入レ 1 時間放置後取出シ直ニ試料ヲ塗布セザル面ノ中央ニ直徑 10mm ノ棒ヲ板ノ短邊ト平行ニ當テ塗面ヲ外向ニシテ棒ノ周圍ニ急速ニ 180° 屈曲ス同時ニ同様ニ處理シテ得タル見本品ノ塗膜ニ比較シ龜裂又ハ剝離ノ程度大ナラザルモノヲ合格トス

第十一條 耐熱試驗 試料ニ [レヂューサー] (第十六編第十五)ヲ添加(レヂューサー)ノ添加量ハ試料ニ對シ重量ニテ 0.2 倍乃至 1.0 倍)シ攪拌シテ吹付塗裝ヲナスニ適當ナル粘稠度トナシタルモノヲ清淨ナル[ガラス]板(82×120mm)上ニ 1 回吹付塗裝ヲ行ヒ直ニ溫度約 50°C ニ保タレタル乾燥器中ニテ 30 分乾燥シタル後溫度 100°C 乃至 105°C ノ恒温器中ニ 1 時間放置シタル後取出シテ塗面ヲ檢ス同時ニ同様ニ處理シテ得タル見本品ノ塗膜ニ比較シ變化ノ程度著シカラザルモノヲ合格トス

第十二條 不粘著試驗 前條ト同様ノ方法ニ依リテ得タル乾燥皮膜ノ塗面ノ中央部ニ 50mm 平方ノ綿布 5 枚ヲ重ネ綿布ノ中央ニ平坦ナル底面ヲ有スル圓柱形ノ重錘(直徑 40mm 重量 500g)ヲ底面ヲ下ニシテ置キ溫度約 40°C ニ保タレタル恒温器ニ入レ 2 時間放置シタル後取出シ綿布ヲ塗面ヨリ引離シ塗面ヲ檢ス同時ニ同様ニ處理シテ得タル見本品ノ塗面ニ比較シ布目ノ痕跡著シカラザルモノヲ合格トス

第十三條 酸性度試驗 紙鍮ニテ磨キタル清淨ナル銅板(50×150×0.3mm)ヲ試料中ニ浸漬シ溫度約 20°C ニ於テ 24 時間放置スルニ銅板ノ浸漬面ニ變化ヲ認めザルモノヲ合格トス

第十五 レヂューサー

第一條 本規格ハ [レヂューサー] ニ之ヲ適用ス

第二條 [レヂューサー] ハ [ニトロセルローズ] 塗料稀釋劑ノ一種ニシテ特ニ [ゾボソエナメル] ノ稀釋ニ適スル如ク調製セラレタルモノトス

第三條 [レヂューサー] ハ次表ノ規定ニ合格スルコトヲ要ス

一般状態		無色乃至微黄色澄明ニシテ沈澱物ヲ混ゼズ且悪臭ヲ有セザルコト
分	60°C 未満ノ 溜出容量%	1 以下
	100°C以上145°C未 満ノ溜出容量%	40 以上
溜	160°C 以上ノ 溜出容量%	5 以下
不揮発分(100CCニ付)		3g 以下
ニトロセルロース 溶解試験		合格
ザボンエナメル 稀釋試験		合格
酸 價		0.5 以下

第四條 試料採取方法及試験方法 [レデューサー]ノ試料採取ハ日本標準規格第449號油ワニス及同試験方法第六條ニ依リ試験ハ日本標準規格第405號纖維素塗料用溶劑及可塑劑並同試験方法ニ依ル 但シ[ニトロセルロース]溶解試験ハ第十六編第十二ラツカーシンナー第六條ニ依リ[ザボンエナメル]稀釋試験ハ次條ニ依ルモノトス

第五條 ザボンエナメル稀釋試験 [ザボンエナメル]第一種(第十六編第十四)ニ重量ニテ0.5倍乃至1.0倍ノ試料ヲ加ヘ十分ニ攪拌シ之ヲ温度18°C乃至20°C 湿度70%乃至80%ニシテ通風ヲ有セザル室内ニテ清淨ナル[ガラス]板(120×165mm)ノ上ニ注ギ直ニ[ガラス]板ノ短邊ヲ水平ニシ長邊ヲ水平面ト60°ノ角度ヲ保チテ流展乾燥セシム同時ニ同様ニ處理シテ得タル見本品ノ皮膜ト比較シ平滑度及光澤劣ラズ縞、斑點、白化等ノ程度大ナラザルモノヲ合格トス

第十六 コロヂオン

第一條 本規格ハ[コロヂオン]ニ之ヲ適用ス

第二條 [コロヂオン]ハ[ニトロセルロース]又ハ之ニ可塑劑ヲ加ヘタルモノヲ[エーテル]及[アルコール](備考)ノ混合液ニ溶解シタル液狀物ニシテしごき塗又ハ浸漬塗ニ依リ透明ナル皮膜ヲ形成スル如ク調製セラレタルモノトス

備考 [アルコール]ハ大藏省令第十一號アルコール賣捌規則第一條[コロヂオン]ノ項ニ依リ[アルコール]180[リットル]ニ對シ木精、[アセトン]及[アセトン]油中ノ一種若クハ數種ヲ通ジテ7kg以上又ハ[ベンゾール]2kg以上ヲ混和スルモノトス

第三條 [コロヂオン]ハ之ヲ次ノ2種ニ區分ス

第一種

第二種

第四條 [コロヂオン]ハ次表ノ規定ニ合格スルコトヲ要ス

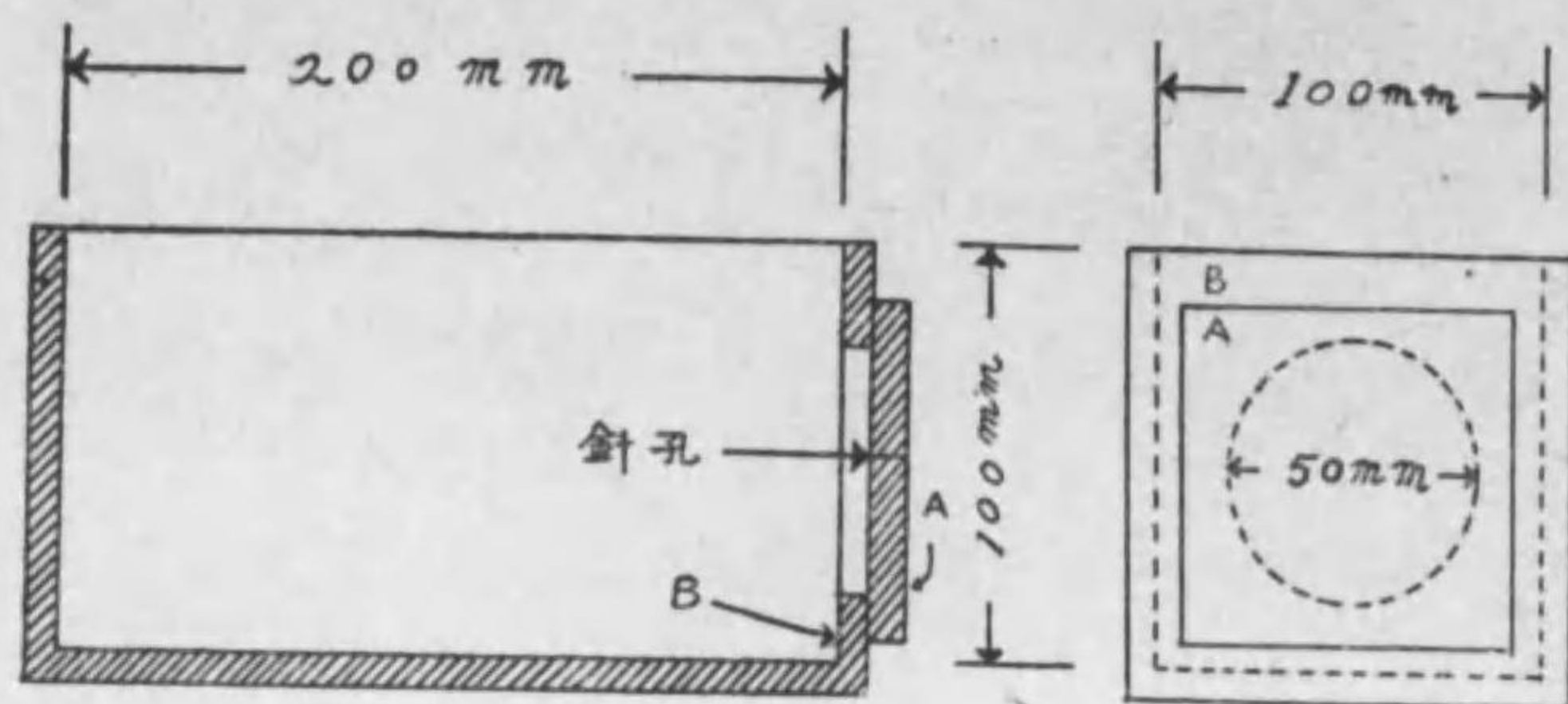
種 別	第一種	第二種
不揮発分%	6 — 10	2 — 5
作業性	作業ニ支障ナキコト	同 左
乾燥時間	30分以内	同 左
乾燥皮膜ノ状態	見本品ニ比シ色暗カラズ 光澤劣ラズ斑點、白化等 ニ於テ其ノ程度大ナラザ ルコト	同 左
不粘著試験	合格	同 左

第五條 試料採取方法及試験方法 [コロヂオン]ノ試料採取及試験ハ第十六編第一ニトロセルロース塗料試験方法ニ依ル 但シ作業性ノ試験ハ第一種ニアリテハ第六條甲法第二種ニアリテハ第六條乙法ニ依リ又不粘著試験ハ第七條ニ依ルモノトス

第六條 作業性

甲 法 試料ヲ圖ノ如キ槽ニ滿シ温度約20°C 湿度約75%ニ於テ之ニ和紙(備考)燃絲ヲ浸シ側面ノ[ゴム]板ノ針孔ヲ通過セシムルニ試料ガ燃絲面ニ均等ニ附著スルトキハ作業ニ支障ナキモノトス 但シ燃絲ノ通過速度ハ毎秒

50mm 程度トス



A [ゴム]板 (自轉車用 [ゴム] 中袋片)

B 木板 (厚約 5mm)

A 及 B ハ [ゴム] 糊ヲ以テ接著ス

乙 法 試料中ニ和紙 (日本標準規格第 92 號紙ノ仕上寸法 B 列 4 番) (備考) フ浸漬シ短邊ノ上兩端ヲ指頭ニテ挟ミ液面ニ垂直ニ約 5 秒ニテ紙ノ下端ガ液面ヲ離ル、如ク引上グルニ試料ガ紙面ニ均等ニ附着スルトキハ作業ニ支障ナキモノトス

備考 上記第六條甲法及乙法中ノ和紙ハ楮又ハ三極等ヨリ製セル純日本紙ヲ使用スルモノトス

第七條 不粘著試驗 試料ヲ清淨ナル [ガラス] 板 (82×120mm) 上ニ刷毛ニテ一回塗布シ温度 20°C 乃至 25°C 濕度 70% 乃至 80% ノ恒温恒濕槽中ニテ 2 時間乾燥シタル後第十六編第一ニトロセルローズ塗料試驗方法第十一條ニ依ルモノトス

不許複製

五
昭和十六年五月十日印刷
昭和十六年五月十二日發行

編輯兼 東部塗料工業組合
發行者 西部塗料工業組合
西日本酒精ニス工業組合

東京市京橋區木挽町六丁目四番地鈴木ビル

代表者 齋藤定藏

東京市京橋區京橋三丁目六番地
日英舎印刷所
印刷者 山田實
電話京橋四一九〇六番

—【定價 金貳圓五拾錢】—

R576.8-To14ウ



1200500767343

R576.8

4



終